

総説

奈良県の沿革

大和は国のまほろば

紀元前3世紀頃、日本列島に稲作がもたらされると奈良盆地は豊かな米作地帯となりました。大陸の高度な文化はこの地に開花し、大和の地は我が国の政治・文化の中心地として中国にならい、都城藤原京(694年)・平城京(710年)が造られ、飛鳥・白鳳・天平の輝かしい文化が醸成されました。

その後、都が平安京に移ったため、一時平城の都はさびれましたが、やがて社寺中心に甦り、鎌倉時代には、大和の国は興福寺・春日大社の荘園で占められるまでになりました。

戦国時代、この大和の地も戦乱が絶えることなく、幾多の興亡が繰り返されましたが、その後織田信長の庇護のもとにあった筒井氏が大和を統一しました。

江戸時代には、綿花・菜種・小豆などの商品作物や、三輪そうめん・吉野葛・宇陀紙・奈良晒・大和緋・吉野杉などの特産品が、隣接する大消費地大阪・京都に運ばれ大和に富をもたらしました。

明治20年に現在の奈良県が誕生

明治維新を迎えると、慶応4年1月に大和鎮台が設置され、以後、行政区画の改廃が繰り返されましたが、明治4年には大和国を統一した奈良県が誕生しました。しかし、明治9年堺県に合併、さらに明治14年には大阪府に合併とめまぐるしく変化し、その中で、大和の人々は奈良県の再設置を粘り強く求め続けました。ついに、明治20年11月4日、奈良県の誕生を迎えることができました。明治21年1月9日には、第1回奈良県議会が東大寺大仏殿回廊において開かれています。

明治22年4月1日の町村制施行当時、10町142村2組合村で、人口は50万人ほどでした。その後県勢の発展に伴い、昭和30年前後に市町村合併が促進され、またさらに、平成の大合併で平成16年10月には葛城市が誕生し、平成17年4月には月ヶ瀬村・都祁村が奈良市と、9月には西吉野村・大塔村が五條市と合併し、平成18年1月1日には、大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村が合併し宇陀市が誕生しました。現在は12市15町12村となり、人口約141万人となっています。

環境との調和をはかりながら

奈良県は、気候・風土に恵まれているものの、海がなく河川に乏しいという条件もあって、明治以降も農業・林業が産業の中心でしたが、昭和38年から始まった奈良県新総合開発計画をはじめとする県勢の振興計画による産業基盤の整備や公害のない工場誘致等により急速に工業化・都市化が進みました。人口は昭和40年代初めから50年代中ごろにかけて、大都市大阪等のベッドタウンとして急増してきましたが平成13年より減少に転じています。そうした中で、大和平野地域に人口が集中する一方、その他の地域では過疎化、高齢化が一段と進みました。そこで、美しい自然環境のもとで、健康で豊かな家庭生活を築きつつ平和で楽しい社会生活を共にし、世界各国とも直結した奈良県づくりの指針として、昭和59年に「奈良県長期基本構想」を策定しました。さらに、その後の社会経済情勢の変化、構想・計画段階であった事業の具体化も進んだため、「奈良県長期基本構想(修正)」を策定しました。そして、平成7年には社会の新たな潮流や本県の特長・課題を踏まえ、「奈良県新総合計画」を策定、また平成13年度からの5か年の県政を推進するための運営方針として「奈良県新総合計画後期実施計画」を作成し、計画的な県政運営を進めてきました。

その後、平成17年度には「少子高齢化や人口減少など」、これからの社会のあり方を大きく変化させる潮流を踏まえ、30年後の奈良の将来像を描いた「やまと21世紀ビジョン」を策定しました。

なお、平成20年度からは、「当面の行財政運営に関する基本的な考え方」(平成19年11月)に基づき県政運営を進めることとし、各年度の具体的な取り組みは「行財政運営に関する取り組み」として公表しています。

県 政

奈良県年表

西 暦	年 月 日	事 項
1868年	慶応 4年 1月21日 5月19日 7月29日	大和鎮台が設置され、のち2月1日大和国鎮撫総督府と改称 奈良県を置き、(知事に春日仲襄)これを管領 奈良県は奈良府と改称
1869年	明治元年 9月 8日 2年 6月17日 ~24日	明治と改元 各藩は版籍を奉還し、それぞれ旧藩を県とし知藩事を置く。 (郡山県一柳沢氏15.1万石、高取県一植村氏2.5万石、柳本県・芝村県一織田氏各1万石、橿羅県一永井氏1万石、小泉県一片桐氏1.1万石、柳生県一柳生氏1万石、田原本県一平野氏1万石の8県)
1870年	7月17日	奈良府は奈良県と改称
1871年	3年 2月27日 4年 7月14日	奈良県の一部(旧宇智、吉野郡)を分け五條県を置く。 廃藩置県により大和国内に奈良県、五條県のほか、郡山県、高取県、小泉県、柳生県、田原本県、柳本県、芝村県、橿羅県、和歌山県、津県、久居県、壬生県、大多喜県が誕生
	11月22日	奈良・五條を含む15県を廃止し、奈良県を設置、県内を添上・添下・平群・山辺・式上・式下・十市・宇陀・高市・広瀬・葛上・葛下・忍海・宇智・吉野の15郡に分け統轄(県令に四条隆平)
1876年	9年 4月18日	奈良県が堺県に合併
1881年	14年 2月 7日 11月29日	堺県が大阪府に合併され、大和15郡を4郡役所で所管 大和国一覧表によると15郡261町1,333村で戸数99,005戸、476,709人
1887年	20年11月 4日 12月 1日 27日	大阪府から分離して奈良県が再設置 奈良県が開庁(知事に税所篤) 第1回奈良県議会議員35名の当選告示
1888年	21年 1月 9日	第1回奈良県議会、東大寺大仏殿回廊で開会
1889年	22年 4月 1日	町村制が施行(10町142村2組合村)
1895年	28年12月15日	県庁舎が落成し移庁式を奉行
1897年	30年 8月 1日	郡制の実施、添下・平群を合わせて生駒郡、式上・式下・十市を合わせて磯城郡、広瀬・葛下を合わせて北葛城郡、葛上・忍海を合わせて南葛城郡とし、添上郡、山辺郡、宇陀郡、高市郡、宇智郡、吉野郡を合わせて10郡となり、各郡に郡役所を設置
1898年	31年 2月 1日	添上郡奈良町に市制を施行
1926年	大正15年 7月 1日	郡役所を廃止
1942年	昭和17年 7月 1日	県内7カ所に地方事務所を設置
1947年	22年 4月 5日	初の公選知事選挙が行われる。
1955年	30年 9月17日	地方事務所を廃止
1956年	31年10月	吉野熊野特定地域総合開発計画が閣議決定
1963年	38年11月	奈良県新総合開発計画を策定
1965年	40年 3月18日	新県庁舎が竣工
1968年	43年 3月	第2次奈良県新総合開発計画を策定
1973年	48年 3月	奈良県長期基本計画(第3次)を策定
1978年	53年 3月	奈良県長期基本計画(第3次)[修正計画]を策定
1984年	59年 4月 9・10月	奈良県長期基本構想を策定 わかくさ国体を開催
1987年	62年11月 4日 12月 1日	奈良県置県100年を迎える。 第200回奈良県議会を開催
1988年	63年 3月28日	関西文化学術研究都市(奈良県域)の建設に関する計画が内閣総理大臣の承認を得る。
1991年	4~10月 平成 3年10月 1日	なら・シルクロード博を開催 香芝町の市制施行(10市20町17村)
1992年	4年 2月	奈良県長期基本構想(修正)を策定
1995年	7年 4月 9月	奈良県新総合計画を策定 第8回全国スポーツ・レクリエーション祭を開催
1996年	8年 7月 8月	県分庁舎が竣工 情報公開制度がスタート
1998年	10年 4月	朱雀門・東院庭園復元記念事業「平城京'98」を開催
1999年	11年 4月	単一農業協同組合が誕生
2000年	12年10月	個人情報保護制度がスタート
2001年	13年 3月	奈良県新総合計画後期実施計画を策定
2006年	18年 1月 1日 3月	平成の市町村合併(12市15町12村) やまと21世紀ビジョン及び実施計画(2006~2010)を策定

市町村変遷表

明治22年	変遷	現在
奈良町	奈良市(明31)	奈良市
良保村	(大12)	
跡村	(昭15)	
安寺村	(昭26)	
大東市	(昭26)	
平城市	(昭26)	
辰谷村	(昭26)	
五ヶ谷村	(昭26)	
帯解村	帯解町(昭2)	
明治村(添上郡)	(昭30)	
富雄村	富雄町(昭28)	
伏見村	伏見町(昭25)	
柳原村	(昭32)	
大柳生村	(昭32)	
東里村(添上郡)	(昭32)	
狭川村	月ヶ瀬村(昭43)	(平17)
月ヶ瀬村	月ヶ瀬村(昭43)	
針ヶ野村	都祁村(昭30)	都祁村(平3)
高田町	大和高田市(昭23)	大和高田市
土庫村(組合立)	(昭2)	
松塚村	(昭16)	
浮盤村	(昭16)	大和郡山市
陵園村	(昭31)	
天西村	(昭32)	
郡満山町	大和郡山市(昭29)	
筒井村	(昭16)	
平治村	(昭28)	
矢道村	(昭28)	
平端村	昭和村(昭10)	
本片村	片桐町(昭25)	
櫟本村	櫟本町(明27)	
二階堂村	(昭32)	天理市
朝山村	天理市(昭29)	
福柳村	丹波市町(明26)	
耳本村	柳本町(大12)	橿原市
白成村	畝傍町(昭3)	
八木村	橿原市(昭31)	
今井村	橿原市(昭31)	
真菅村	(昭31)	桜井市
新橋村	(昭31)	
金井村	桜井町(明23)	桜井市(昭31)
城島村	(昭17)	桜井市
武倍村	(昭29)	
多倉村	(昭29)	
安久村	(昭31)	
朝山村	(昭31)	
香福村	(昭31)	
大上村	初瀬町(明24)	
初瀬村	(昭34)	
織田村	大三輪町(昭30)	
纏向村	(昭38)	
三輪村	三輪町(明24)	

明治22年	変遷	現在
五野	野原町(昭3)	五條市
條原智	村	
宇合部	村	
阪字智	村	
北太	大阿太村(明24)	
阿	南阿太村(明24)	
牧野	村	
南智	村	
賀名	西吉野村(昭34)	
宗白	村	
大御	村	御所市
秋掖	村	
葛吐	村	
田郷	葛上村(昭31)	
羅村	村	
原室	村	
田本	大正村(大4)	
松本	村	
西小	村	
北北	生駒町(大10)	
五二	村	
下志	香芝町(昭31)	香芝市(平3)
新忍	村	
當盤	新庄町(大12)	葛城市(平16)
松政	村	
山始	當麻村(昭31)	當麻町(昭41)
戸	村	
宇賀	大字陀町(昭17)	宇陀市(平18)
原志	(上竜門村)	
伊那	宇太町(昭10)	
内室	菟田野町(昭31)	
三東	榛原町(明26)	
里山	村	山添村(昭31)
波多	村	
豐原	平群村(明29)	平群町(昭46)
明治	村	
三竜	三郷町(昭41)	三郷町(昭41)
法隆	竜田町(明25)	
富安	斑鳩町(昭22)	斑鳩町
川三	村	
隆郷	安堵町(昭61)	安堵町
西宅	川西町(昭50)	
三宅	三宅町(昭49)	三宅町
	村	

明治22年	変遷	現在	
田原町	田原本町(昭31)	田原本町	
野東村		曾御村	
川都多曾御高越船阪高飛上王馬百瀬箸河		高取町(昭29)	高取町
爾杖取智岡		高取町(明24)	高取町
倉合市鳥牧寺見濟南尾合	明日香村(昭31)	明日香村	
上牧村		上牧町(昭47)	上牧寺町
王寺町(大15)	広陵町(昭30)	広陵町	
馬見町(昭28)		河合町(昭46)	河合町
箸尾町(昭2)		大宇陀町(昭17)	河合町
竜門村	吉野町(昭31)	吉野町	
上竜門村(明23)		吉野町	
中竜門村(明23)		吉野町	
竜門村(明23)		吉野町	
吉野町(昭3)		吉野町	
吉国櫛村	大淀町(大10)	大下淀市町	
中荘村(明27)		大下淀市町	
市淀市野	丹生村(明45)	黒天滝川村	
下市野		黒滝村(明45)	黒天滝川村
天野川	十津川村(明23)	十津川村	
迫川		十津川村	
十津川		十津川村	
十津川		十津川村	
十津川花園		十津川村	
十津川	下北山村	下北山村	
北山		下北山村	
上郷見川	東吉野村(昭33)	東吉野村	
四高小		東吉野村	